

授業の様子

令和7年度 馬込小学校 研推だより 4年生号

令和7年 12月25日(水)

思考力・判断力・表現力を育てる学習指導の工夫

～対話を通して互いの考えを認め合い、
問題解決を図る児童の育成をめざして～



4-1

よかった点

- 個人→班→全体の対話的な流れを取り入れ、互いの考えを認め合いながら推敲の観点を広げる学習が成立していた。
- 児童が「相手・目的」を意識して表現を見直すなど、問題解決に向けて自分で気付く姿が見られた。
- ワークシートや例示により、どの子も取り組みやすく、主体的に考えようとする姿が育っていた。
- 総合的な学習の時間『地域安全マップ』を3年生に向けて伝わる原稿に書き直す活動へ発展させた点が、学びの関連性を高め、表現の必然性をもたせていた。

改善点

- 対話の中で、児童同士が考えをつなげたり比べたりする場面が弱く、思考の深まりが限定的であった。
- 「相手・目的」を踏まえた表現改善の視点が、全員に十分に定着したとは言えず、さらなる支援が必要だった。
- 次時の自分の文章への適用を見据えた、解決方法の整理・明確化がもう少しできると、問題解決型の流れがより強まった。



4-2

よかった点

- 前時で学習した空気や水が温度との関係で体積が増減することを関連付けて考えさせることができた。
- 金属という絶対的に体積は変わりそうもない物質においても、変わるかどうかを考えさせることで、こどもたちの興味関心を高められた。

改善点

- 考察の仕方が、不十分であったため、今後は考察での表現の仕方を改善したい。



4-3

よかった点

- 登場人物の行動・様子や、二人の関係の変化を、場面と場面のつながりを見つけて捉えることができた。
- 面白いと思った点や考えたことを伝え合うことで違いを理解し、共有する楽しさに気付くことができた。

改善点

- 感想を共有する際に話せない児童がいたため、話型を提示するべきだった。



4-4

よかった点

- 児童主体で話し合う時間を取ることができた。
- 提案理由に向けて、自分が考えた理由を含めて話し合うことができた。
- 話し合うことがうまく進まない時間に、近くの人と相談する時間を自分たちで設けることができた。

改善点

- 担任の助言のタイミングが曖昧で、児童の話し合いが止まってしまう時があった。
- 児童の話し合いが一番盛り上がったタイミングがあるが、その場面を深堀することができなかった。

学年のまとめ

児童主体の話し合いを重視し、理由を挙げて提案する姿や、話し合いが停滞した際に自ら相談の場を設ける姿が見られた点が評価できる。さらに、個人・班・全体の対話的な流れやワークシートの工夫により、相手や目的を意識した表現の見直しが促され、総合的な学習との関連付けも学びの必然性を高めていた。理科では、既習事項と関連付けて金属の体積変化を考えさせることで、児童の興味関心を引き出していた。一方で、話型の提示や助言のタイミング、思考が深まった場面の追究、考察の表現方法などに課題が残り、今後は支援の工夫や学習の整理を通して、より問題解決的な学びの充実が求められる。